

全日通労働組合

神奈川支部第71回定期大会

第71回定期支部大会は、8月23日（木）10時から、各協議会より、選出された代議員46名、オブザーバー11名、支部役員23名、合計80名が参加し、ワークピア横浜で開催されました。

冒頭、中野副執行委員長の司会で始まり、議長団には賀茂代議員（神奈川西支店協議会）と吉田代議員（横浜警送地域協議会）を選出し、議事が進められました。



賀茂代議員（左）吉田代議員（右）



はじめに、亀崎執行委員長から「平成30年7月豪雨」「時間外上限規制の百万人請願署名」「無期転換権ルール」「退職金制度のあり方」「政治課題」の5点について、挨拶がされました。

来賓として、全日通労働組合中央本部の山田副執行委員長をはじめ、中央労働金庫横浜支店の菅沼支店長、全労済神奈川推進本部の片岡課長、島袋さん、丸全商事株式会社の白松さんにお越しいただき、激励の挨拶を受けました。

次に、田村書記長より、2017年度一般経過報告、山上副委員長より、2017～2018年度活動（補強）方針（案）の提案がされ、満場一致で可決・決定しました。



その後、財政小委員会の答申を田中座長より、ストライキ投票管理委員会の山下委員長より報告を受け、それぞれ確認されました。

最後に、スローガンの確認、閉会に原子副執行委員長が大会役員・書記・議長団の解任した後、全体でガンバロー三唱し大会を終了しました。



大会終了後、「全日通労働組合神奈川支部結成70周年記念レセプション」を開催しました。